

20
名
現在時刻 16:22

おぐじ

- 2 12月定例会の概要、議案審議
- 5 一般質問
- 10 令和7年度高校生議会
- 12 議会モニター会議
- 13 議会報告会
- 14 常任委員会等の活動報告ほか
- 16 およつと一言、議会の動きほか

はなまき市議会だよりの花の風



表紙写真

高校生議会（令和7年10月28日）

令和8年2月1日

第86号

議案審議

可決

花巻市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例

児童福祉法等の一部改正に伴い、虐待にあたる行為を定めるほか、保育所等に配置する保育士について所要の改正をしようとするもの。

質疑

- 質問…地域限定保育士を国家保育士同様、保育現場に配置基準として認められる内容であるが、短期間の研修で十分か。
- 答弁…国の規定によると地域限定保育士は、都道府県に登録後3年を経過することによって、全国で働ける保育士となる制度である。

反対討論

【照井明子 議員】

地域限定保育士は短期研修で取得できる補助的な資格で、資格の規制緩和は保育士の専門性と保育の質を損なうものである。保育士不足の原因は低賃金・長時間労働などであり、労働条件の改善なしに解決にはならない。

承認

令和7年度花巻市一般会計補正予算(第8号)

15億210万8千円を追加し、歳入歳出それぞれ総額621億1,355万8千円とするものです。
※市議会が注目した主な補正予算は次のとおりです。

◆ツキノワグマの警戒パトロール・追い払いや捕獲活動に従事した花巻市鳥獣被害対策実施隊に対する補助金を増額 2,108千円

質疑

- 質問…クマについて、追い払いの単価が千円から2千円に増加したが、アドバイザーや推進員の方々の補正予算の対応はあるか伺う。
- 答弁…アドバイザーや推進員については、現在は会計年度任用職員給与となっており今回の補正予算には特になが、令和8年度には危険手当を条例で決めてしっかり対応していく。
- 質問…クマの処分について、追い払いや捕獲という方法から駆除に対応が移行したと捉えているが、駆除したクマはその後どのように処理されているか伺う。
- 答弁…駆除されたクマは、実施隊の方々により埋設処分や岩手中部クリーンセンターに運び処理されている。また、捕獲には今年度より1頭当たり8千円の交付金が支払われており、その金額で賄っていただいている。

審議の様子は
こちら



12月定例会 提出された85議案を可決

令和7年第4回花巻市議会定例会は12月5日開会、12月19日まで15日間の日程で開かれました。12月8日、9日、10日には一般質問に13人が登壇し、市政課題について質問しました。
12月12日には議案審議が行われ、JR花巻駅東西自由通路等整備事業費などを含む令和7年度花巻市一般会計補正予算(第9号)、花巻市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例、花巻市情報技術を活用した行政の推進に関する条例の一部を改正する条例など76議案を原案のとおり可決。ツキノワグマの警戒パトロール・追い払いや捕獲活動に従事した花巻市鳥獣被害対策実施隊に対する補助金などを含む令和7年度花巻市一般会計補正予算(第8号)などの3件の専決処分を承認したほか1件の報告がありました。
最終日の12月19日には、花巻市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例など4件を原案のとおり可決したほか1件の報告がありました。
また、文教福祉常任委員会で審査した意見書案第3号が賛成多数で原案のとおり可決しました。
主な可決議案や質疑は以下のとおりです。

可決

令和7年度花巻市一般会計補正予算(第9号)

2億9,292万円を追加し、歳入歳出それぞれ総額624億647万8千円とするものです。
※市議会が注目した主な補正予算は次のとおりです。

◆JR花巻駅東西自由通路等整備事業(債務負担行為の追加)

質疑

- 質問…JR花巻駅東西自由通路等整備事業について、労務費年5.7%増との説明だが、国交省は令和7年3月から適用される公共工事設計労務単価を全国全職種単純平均で前年度比6.0%引き上げるとした。今回の事業での5.7%の設定は、花巻市が設定したのかJRが設定したのか。
- 答弁…5.7%の設定は、基本設計、実施設計が行われた際、地域の労務費、材料費を考慮し、業務委託の中でJR東日本が示した設定を市が了承したものです。

反対討論

【照井明子 議員】

市民の税金でJR駅舎が建設されることから、事業実施主体は市である。しかし事業費の詳細情報の透明性が確保できない事業は市民、議員が適切な判断ができない。

反対討論

【本館憲一 議員】

物価変動分が増額になったこととコストダウンの結果、当初に比べ自由通路のイメージに違いが生じたことについて、市民に説明が必要だ。当市が自由通路を建設するのは、一企業であるJR東日本のために税金を使うようなものだ。



総務大臣から
感謝状贈呈

長年にわたり市議会議員として地方自治の振興・発展、住民福祉の向上に尽くした功績に対し、阿部一男議員へ総務大臣より感謝状が贈呈されました。

(写真)
阿部一男議員

一般質問

一般質問

12月定例会では、13人の議員が登壇し、市政全般のことについて質問を行いました。

令和7年第4回花巻市議会定例会 一般質問一覧（登壇順）

久保田彰孝 議員 (日本共産党花巻市議会議員団)	①ツキノワグマの出没対策について ②いわて花巻空港を特定利用空港の対象とすることについて
及川 恒雄 議員 (明 和 会)	①地域医療について ②芸術文化の振興施策について ③宿泊税について ④市政総括について
本館 憲一 議員 (はなまき市民クラブ)	①JRR花巻駅東西自由通路（駅橋上化）整備について ②旧笹間第二小学校の利活用について
伊藤 盛幸 議員 (緑 の 風)	①人口減少対策について ②地域づくりについて
阿部 一男 議員 (社民クラブ)	①農業問題について ②非核平和都市宣言について ③コミュニティ会議について
照井 明子 議員 (日本共産党花巻市議会議員団)	①学校給食無償化について ②5歳児健康診査実施及び発達障がい児等へのフォロー体制について ③生ごみ処理機購入助成金制度について
伊藤 忠宏 議員 (明 和 会)	①熊対策について ②長期にわたり放置されている火災焼損建築物について ③コミュニティ会議職員の給料について
羽山のみ子 議員 (はなまき市民クラブ)	①新花巻図書館について ②上田市政の総括について
鹿討 康弘 議員 (緑 の 風)	①小中学校における熊出没時の対応策について ②フリースクール及び学びの多様な学校について ③公共施設の民間活力導入による「稼ぐ自治体」への転換について
櫻井 肇 議員 (日本共産党花巻市議会議員団)	①訪問介護事業所への支援について ②不登校対応について
似内 一弘 議員 (緑 の 風)	①投票率向上及び投票環境について ②学力の向上に向けた取組について ③小中学生のキャリア教育について
佐々木精市 議員 (会派に所属しない)	①多文化共生社会の理解促進について ②広報はなまきについて ③障がい者の社会参加について
菅原ゆかり 議員 (会派に所属しない)	①ギャンブル依存症の対策について ②香りの害（香害）について

令和7年度11月30日現在、市は、親の送迎が困難な児童生徒へ、安全確保を第一にタクシーの送迎を行っている。ツキノワグマの出没対策について、市は、親の送迎が困難な児童生徒へ、安全確保を第一にタクシーの送迎を行っている。ツキノワグマの出没対策について、市は、親の送迎が困難な児童生徒へ、安全確保を第一にタクシーの送迎を行っている。



久保田彰孝 議員



市として、国が国の防衛のために特定利用空港を指定しようとする制度自体に反対するものではない。花巻空港を特定利用空港として利用することは、花巻空港の現状及びその地理的位置から市民に対するメリットが見いだせないため、賛成できないと考えている。仮に県が花巻空港を特定利用空港とすることを検討するのであれば、花巻市民を中心に広く県民の意見を聞くべきである。

議案審議

可決

花巻市情報技術を活用した行政の推進に関する条例の一部を改正する条例

新たな公共施設予約システムの導入に伴い、オンラインによる公共施設の予約に係る施設使用料の徴収時期の特例について定めようとするものです。

質疑

- 質問…新たな予約システムの概要を伺う。
答弁…システムの利用登録がオンラインで完結することや、空き情報についても、例えば施設の会議室の一覧という形で見る事が可能である。使用申請書の提出もオンラインでできる。抽選も可能。使用料の支払いはクレジットカード等のオンライン決済ができるようにしている。このように、全体的にすべてオンラインで完結できる。
- 質問…新たな予約システム導入スケジュールを伺う。
答弁…2026年2月1日から閲覧可能とし、3月または2月下旬から利用可能としたい。
- 質問…振興センターをはじめ、公共施設すべてでこのシステムを導入するのか伺う。また、紙ベースの場合はどうか。
答弁…振興センター、社会体育館、スポーツ施設、生涯学習施設が対象になる。紙ベース申請も引き続き受け付ける。

賛否が分かれた議案等の審議結果

議案 85	花巻市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例
議案 97	花巻市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例
議案 157	令和7年度花巻市一般会計補正予算（第9号）
議案 161	花巻市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例
意見書 3	〇TC類似薬の保険適用除外を行わないことを求める意見書の提出について

会派名	明和会						はなまき市民クラブ			緑の風			社民クラブ			日本共産党花巻市議会議員団		会派に所属しない		審議結果				
議員名	及川恒雄	伊藤忠宏	藤根清	小原保信	横田忍	盛岡耕市	佐藤峰樹	羽山のみ子	佐藤現	内館桂	本館憲一	小森田郁也	鹿討康弘	似内一弘	伊藤盛幸	照井旨三	若柳良明	阿部一男	久保田彰孝		照井明子	櫻井肇	佐々木精市	菅原ゆかり
議案 85	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	可決
議案 97	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
議案 157	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	可決
議案 161	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
意見書 3	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決

○は賛成、●は反対。議長は表決に加わりません。



かわい 恒雄 議員

■地域医療について

Q 地域医療の現状と課題、今後の方向性及び県立東和病院、大迫地域診療センターの存続・維持について伺う。

A

医療人材が全国的に不足しており、特に岩手県は医師不足が深刻な状況にある。また、病院の経営状況も厳しく、県は県立病院の維持のため令和6年度で22.3億円を繰り出したが、決算では71億円の赤字となった。東和病院、大迫地域診療センターは地域に欠かせない重要な医療機関であるが、県立病院等が多額の赤字を抱えていることから国による支援も踏まえ、注意深く

■芸術文化振興施策について

Q 芸術文化の活動支援体制と後継者確保対策について伺う。

A

市民芸術祭実行委員会への負担金や芸術文化協会への事業活動補助金、市芸術協会加盟団体への文化会館使用料の一部減免や、催事活動等を周知するため広報はなまきや市ホームページで情報発信を行っている。後継者確保については子どもたちへの民俗芸能の普及啓発や中学校での部活動の地域展開で芸術団体への参加を促し次世代への普及啓発をしていく。

■自由通路のコスト削減について

Q 4.7億円の事業費削減によって、自由通路内のコンセプトが打ち消されたのではないかと。市民の方々にこの変更を説明するべきと思うが、どうか。

A

大幅な変更や、コンセプトを全く無視しているものではない。内装材を木質系からシート系に替えるなど変更点はあるが、全体的なデザインは、過去の検討や市民のみなさんからいただいた意見を反映してコスト削減を図っている。市民への説明は、最終的にでき上がった実施設計を皆さんに示すのでご理解いただきたい。

■旧笹間第二小学校の利活用について

Q 文部科学省のホームページ掲載の他に、市内や市外の企業や事業所を訪問する際は旧笹間第二小学校の利活用を紹介するべきと考えが、どうか。

A

令和7年11月から文部科学省のホームページ「みんなの廃校プロジェクト」に旧笹間第二小学校が掲載され、活用について全国に紹介し、募集を行っている。また「花巻市企業立地ガイド」にも掲載し、市内外の企業を訪問する際や問い合わせがあった場合は、産業用地の他に旧笹間第二小学校跡地などの適地を紹介していく。



いとう 盛幸 議員

■人口減少対策について

Q 一期目の市長選挙で公約に掲げた人口減少対策。これまで取り組んだ中で、大きな課題と捉えているものは何か伺う。

A

一つ目は少子高齢化に伴い、出生数が死亡者数を下回る自然減が挙げられる。二つ目は社会減で、令和元年から4年までは転入者が転出者より多い社会増であったが、令和5年以降マイナスに転じている。18歳から24歳までの若い世代の減少が顕著である。一方で、30歳から39歳の世代は増加となっている。



■地域づくりについて

Q 地域づくりを担うコミュニティ会議は、令和9年に発足。これまでの評価と将来展望について伺う。

A

地域づくり交付金を活用し、地域性や独自性を生かした様々な取り組みがなされている。一方で、運営上の課題もあり令和7年7月から8月にかけてヒアリングを行った。地域の人口減少や高齢化に伴う課題など、地域の実情に即した体制の見直し等を含めて、地域の皆様と話し合いを続けるための役割が果たせるよう支援していきたい。



あべ 一男 議員

■オーガニック給食について

Q 有機米を使用した学校給食について、実施した感想と今後の実施見込みを伺う。

A

教育委員会は市のオーガニックビレッジ宣言を受け令和7年度は合計4校に683食を提供した。実施に際して大迫・東和小学校児童を対象に花巻市有機農業推進協議会と市農林部による出前授業を行い、有意義な内容であった。この取り組みは市の食育推進計画や農業振興の一環とらえ、令和8年度は市内全小中学校で各1回実施する計画である。



■コミュニティ会議職員の給料について

Q コミュニティ会議職員の賃金見直しに向けた考えを伺う。

A

コミュニティ会議職員の給料は市が委託する指定管理料に含めて支払っている。この給料は会計年度任用職員とは立場や職務内容、勤務規律、雇用の性質などが異なることから単純に市職員と比較することは適切ではない。事務職員の給料は令和6年度以降、物価高騰や人件費高騰などの社会情勢を鑑み見直しを行っており、令和8年度以降も最低賃金の改定や社会経済情勢を見極め、必要に応じて適宜対応していく。

■5歳児健康診査について

Q 健康診後の発達障がい児等へのフォロー体制として、保育園・幼稚園等現場の専門職育成への支援について伺う。

A

健康診後、支援が必要と判定された子どもへのフォローを行う専門職には、児童発達支援管理責任者、公認心理師、臨床心理士等が想定されるが、専門職を各保育園等に配置するには、人材確保が難しく多額の費用を要することから困難。「子ども発達相談センター」における巡回訪問の回数を増やすなど、体制の強化を図る。

■生ごみ処理機購入に助成を

Q 熊の被害が拡大しており、生ごみは熊の誘引物である。廃棄物の減量化にもつながる屋内生ごみ処理機購入助成の考えを伺う。

A

屋内用生ごみ処理機は電動型が主流でパイオ式と乾燥機がある。乾燥処理後に肥料にするのであれば、資源循環として一定の効果があるが、投入する生ごみの水分量が多ければより多くの電気を使うため水切りが必要となる。引き続き、水切りによる生ごみ減量化に取り組む。生ごみ処理機の効果的運用状況等見極めながら検討する。



いとう 忠宏 議員

■熊対策について

Q 市民が実践できるクマ被害への対策についてイラスト主体のマニュアルが必要と思うが考えを伺う。

A

市民がツキノワグマに遭遇した時の通報先、遭遇した場合の対処方法、市が目撃の通報を受けた場合の対応を定めている「花巻市熊出没対応マニュアル」をホームページ、広報などで周知してきた。更なる周知を図るため、わかりやすく記載したチラシなど検討する。



■長期に渡って放置されている火災焼損建築物について

Q 火災焼損建築物は状態により対応が異なるようだがどのように指導し支援するか伺う。

A

長期に放置されている火災焼損建築物に対して早期に除却や修繕の実施を求め、その意思や資力が無い場合などに行政代執行などの可能性もあるが助言、指導、勧告、命令を行う。支援については固定資産税の減免や支援物資の提供などがある。



新花巻図書館について
きくち 新 議員



JR東日本との土地取得契約成立の見通しについて伺う。

Q

現在の計画では令和7年12月中旬に土地面積を確定する。JR東日本が税制優遇を受けるために、土地収用法に基づく事業の認定を受ける必要がある。財産評価審議会の諮問答申を得た上で土地収用法に基づく事業の認定を受け、令和9年中頃に土地取得契約を締結する。土地評価額は市が令和2年に実施した評価額と同程度で、大幅な変化はないと考えている。

A

建設のスケジュールと総事業費の見込みについて伺う。

Q

令和7年度から8年度にかけて、既存建物の解体設計および外構設計ならびにボーリング調査を実施したい。建築工事は令和9年度から11年度までを見込んでおり、12年度には外構工事を行い、全体の整備を完了させたい。総事業費は人件費・資材費などの高騰により上昇する可能性があるが優先交渉権者には想定事業費約40億円で設計していただくことを期待している。

A

熊出没時の登校安全対策と送迎支援体制について

Q

熊の出没が相次ぐなか、登校前後の安全確保と教職員の勤務体制に負担はないか。送迎支援の現状と課題は。

A

熊の目撃情報はログチャット等で共有し、各校で安全確認や立哨を実施している。早朝勤務は校長会を通じ過度な負担とならぬよう依頼している。送迎困難な家庭には市費でタクシーを手配するが、台数不足など課題もある。事業者との連携強化や効率的運用に努め、児童生徒の安全確保を最優先に対応していく考えである。



鹿討 康弘 議員

民間フリースクール支援と新たな学びの場の検討を

Q

民間フリースクールの運営支援や公民連携の拡充、さらに「学びの多様化学校」設置の考えを伺う。

A

市独自の運営補助は現時点ではないが、国の「児童育成支援拠点事業」の活用を検討中である。委託事業による公民連携も、他市の事例を参考に研究を進めている。不登校児童生徒の居場所づくりを重要課題と捉え、支援の多様化とともに「学びの多様化学校」設置の可能性についても調査・研究を進めていく考えである。



まぐらい 肇 議員



不登校対応について

Q

小中学校における不登校の実態およびその支援さらに保護者への支援強化について伺う。

A

不登校の児童生徒数は年々増加傾向にあり、令和6年度は小学校81名、出現率1.97%、中学校121名、出現率5.65%となっており、令和6年度は過去最高となっている。支援については、スクールソーシャルワーカーを教育委員会に

3名配置し、定期的に学校を訪問し、不登校児童生徒に対する支援の助言や担当教員、保護者の相談に直接対応している。必要と判断した場合、スクールソーシャルワーカーが、児童相談所などの関係機関と連携をはかり、支援策を講ずるためのケース会議を行っている。令和8年度から保護者を支える仕組みとして保護者代表や、学校の教員、スクールカウンセラー等と連携を図り、不登校児童生徒を保護者と支援する「不登校支援ネットワーク会議」を開催することとしており、準備を進めている。



かすらぎ 一弘 議員

Q

選挙における投票所の再編および投票環境の改善について伺う。

A

現在は具体的な投票所再編計画はないが、選挙に従事する職員及び投票管理者や投票立会人の確保に苦慮している状況にあり、選挙費用も増加していることから、将来的には総合的に投票所の再編を検討していく必要があると認識している。投票環境の改善については、一関市の「投票環境改善実施計画」のような計画を策定する考えは現段階ではないが、一関市の事例などを参考にしながら投票環境の改善に取り組んでいる。



広報はなまきの発行について

Q

現在月2回発行している広報紙を1回にした場合のメリット、デメリットについて伺う。

A

1回にした場合、印刷経費約800万円程度の削減が見込まれる。また配布に携わっている人にも負担軽減になる。一方、市情情報等のタイムリーな発信ができなくなってしまう恐れが挙げられる。デジタル機器を活用する準備を進めながら1回に減らす下地作りを進め、遠くない時期に実現していきたい。



ささき 鉄 議員



障がい者の社会参加について

Q

花巻版障がいがある人もない人も共に学び共に生きるまちづくり条例について進捗状況を伺う。

A

令和7年7月10日に各障がい者関係団体と意見交換を実施した。市として、「障害者差別解消法」や県条例を守る義務があることから、先進地の条例等を参考とし、法律や県条例でカバーされない事項がある場合やさらに上乗せ事項が必要な場合には、市独自の条例を制定していく必要があると考えている。



すがわら 祐 議員

ギャンブル依存症の対策について

Q

本市の取り組みと市民への啓発について伺う。

A

本市では「広報はなまき」において年1回「こころの病気」に関する記事を掲載している。令和6年2月15日号には、ギャンブル依存症を含む依存症全般の記事を掲載し依存症治療の重要性を呼びかけた。今後についてもギャンブル依存症を含む依存症について定期的に掲載に加え、市ホームページによる啓発活動も新たにしながら、市民のみなさんに広く周知していく。



香りの害(香害)※について

Q

市として啓発活動に取り組む考えはないか伺う。

A

市民のみなさんが香害の問題を認識し適切な行動を取れるよう、香り付き製品使用に当たっては、周囲の方にも配慮いただくことや使用される場合は、使用量の目安も参考とされること等が掲載されている啓発チラシについて本庁舎への掲示を続けるのと同時に、市ホームページ、SNS等で情報発信することにより市民への普及啓発を進めていく。

※香りの害(香害): 柔軟剤などの香りで頭痛や吐き気がすること。

高校生議会 産業建設委員会



委員長報告

委員会終了後は本会議を再開し、各委員会委員長から委員長報告を行いました。



花巻南高等学校 佐藤 煌委員長

総務委員会

- 選択分野 移住・定住
- 課 題 若い人達が花巻市に移住するためには何が必要か
- 課題に対する解決策（抜粋）
 - ・ 地域イベントの開催
 - ・ 花巻のシンボルを作る
 - ・ 若い人達が働きやすい職場を増やす
 - ・ 小・中学校の給食費の無償化



花北青雲高等学校 中川朝陽委員長

文教福祉委員会

- 選択分野 障がい福祉
- 課 題 障がい者についての正しい理解と障がい者雇用について
- 課題に対する解決策（抜粋）
 - ・ （理解促進）アートや音楽を通して関わる時間を増やす
 - ・ （理解促進）講話やセミナー、また障がい者本人の話を聞く機会を増やす
 - ・ （雇用）障がい者の得意、不得意を理解してもらう



花巻農業高等学校 小原勇輝委員長

産業建設委員会

- 選択分野 交通環境
- 課 題
 - ・ 高校生の公共交通機関の利用
 - ・ 駅周辺施設の整備について
 - ・ 大人から子供までが楽しめる公園
 - ・ 料金、ダイヤの改正など電車・バスの利便性の向上
 - ・ 高校生が利用、交流できるスポーツ、アミューズメントの場
- 課題に対する解決策（抜粋）

本会議

各委員長報告の内容について市当局への提言とすること（※）を全会一致で採決しました。



※模擬議会のため実際に提言するものではありませんが、議会活動の参考とさせていただくこととしています。



令和7年度花巻市高校生議会を開催

今回で3回目を数える花巻市高校生議会を令和7年10月28日に開催しました。

市内7校（※）20名の高校生皆さんにご参加いただき、高校生議会を通して議会の雰囲気や会議の進め方などを感じてもらうことができました。

これまでには本会議一般質問形式での開催としてきた高校生議会ですが、より多くの意見を出していただけるよう開催方法を見直し、今回は委員会付託の形式を取り入れ、さらに委員会ではワークショップによる意見交換を行いました。

（※参加校）大迫高等学校、花北青雲高等学校、花巻北高等学校、花巻清風支援学校、花巻農業高等学校、花巻東高等学校、花巻南高等学校（50音順）

本会議

本会議は、高校生議長の花巻農業高等学校 佐藤孔明さんの議事進行により開会され、共通テーマを「花巻の将来」とすることとし、3つの委員会に付託されました。



ホームページも
ご覧ください

委員会

総務委員会、文教福祉委員会、産業建設委員会の3つの委員会は、それぞれ高校生委員長の進行により開会し、ワークショップにより、各委員会の所管分野に関する市政課題や解決策の協議を行いました。

総務委員会



文教福祉委員会



議会報告会



議会報告会「議員と話そう」を開催します

議会の報告と市民の皆様からご意見を伺う議会報告会を「議員と話そう」と題して下記により開催いたします。

よりよい花巻とするため、市民の皆様の普段感じていることや、考えていることなど、テーブルを囲んで議員と意見交換しましょう。

どの会場でも参加できますので、お気軽にご来場ください。

- (1) 日時 令和8年2月12日(木)・13日(金)・16日(月)・17日(火)
午後6時から(90分程度)
- (2) 内容 12月定例会の概要、常任委員会の活動報告、議員との意見交換(共通テーマに係るワークショップ)など

【共通テーマ】「住み続けたいと思える花巻にするには」

※会場によっては共通テーマに替えて個別テーマを設定する場合があります。

月 日 曜	A班	B班	C班	D班
2/12(木)	松園振興センター	宮野目振興センター	湯口振興センター	太田振興センター
2/13(金)	笹間振興センター	大迫総合支所	外川目振興センター	八日市振興センター
2/16(月)	新堀振興センター	田瀬振興センター	小山田振興センター	谷内振興センター
2/17(火)			土沢振興センター	
議 員	伊藤盛幸	本館憲一	佐藤現	照井明子
	若柳良明	菅原ゆかり	佐藤峰樹	内館桂
	羽山るみ子	櫻井肇	阿部一男	照井省三
	藤根清	小原保信	似内一弘	伊藤忠宏
	及川恒雄	鹿討康弘	佐々木精市	小森田郁也
	盛岡耕市	横田忍	久保田彰孝	



どの会場でも参加できますので
お気軽にご来場ください。



最新情報は
こちらから

議会モニター会議

第4回議会モニター会議を 11月21日(金)に開催しました。



ワークショップ形式で意見交換

この会議では、令和7年4月から9月までに議会モニターの皆様から寄せられた意見に対する対応を説明しました。

また、テーマ別意見交換では、令和8年3月末までの任期である議会モニターの皆様と「議会モニター活動の振り返り」と題して意見交換を行い、会議を傍聴してのご意見や、議会報告会へ参加をした感想など、さまざまなご意見、ご感想をいただきました。

いただいたご意見は今後の議会活動の参考とさせていただきます。



◎意見交換で出された意見を
一部ご紹介します

・議会報告会をワークショップとしたことは素晴らしいかった

・市民の声がどの程度反映されているのかが見えない。もったいないと思う

・モニターになる前は議会に関心はなかったが、議会報告会、議会だよりなどを通じて議会のことがわかってきた

・議会の運営をよくするために多くの市民に議会のことについて関心を持ってもらえることが大事

議会モニターを募集しています

花巻市議会の活動について市民の皆様からご意見を伺い、議会の運営等に反映させることを目的に議会モニターを募集しています。



詳細は市議会
ホームページを
ご覧ください。

○募集期限
令和8年2月27日(金)

○申込方法
申込書に記入し、議会事務局へ郵送、FAX、メール、持参のいずれかによりお申し込みください。
申込書は市議会ホームページからダウンロードできるほか議会事務局にも備えてあります。

文教福祉常任委員会行政視察報告

11月6日から11月7日までの2日間、行政視察を実施しました。

○山形県南陽市議会

テーマ「南陽市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例について」

市として積極的に障がい福祉に取り組んでいる姿勢を市民に示し、差別解消を図るため「南陽市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例」が制定されました。条例制定後は広報・啓発、学習及び理解を深めるため障がい者差別解消出前講座の実施、「共生社会の実現」を市の責務とし、格差解消のため特別支援学校等通学費助成を行うなど条例を実効性のあるものとされていました。

○宮城県白石市議会

テーマ「学びの多様化学校について」

一人でも多くの児童生徒に適した柔軟な対応をするため設置された学びの多様化学校である「白石きぼう学園」を視察しました。

自分のペースを最大限尊重し、一対一での学びでの理解・学ぶ姿勢の向上、学校内外での豊かな体験活動などにより「将来のことを考えられるようになった」「受験に前向きになった」等の成果があったことから本市としても参考となる事例でした。



白石きぼう学園にて

議会運営委員会行政視察報告

11月25日に行政視察を実施しました。

○大船渡市議会

テーマ「委員会付託について」



大船渡市にて

議案を委員会に付託、審査してから本会議で審議する委員会付託について検証するために実施したもので、令和7年5月に委員会付託を行っている議会を視察したことから、委員会付託をせず、本会議で審議している大船渡市議会を視察しました。

大船渡市議会からは、過去の検討で付託された委員会以外の議員の質疑の場の確保など諸課題が残ることから実施に至っていないこと、本会議での審議は、全議員が議案の審議に参加できる一方、専門的な視点からの議論が不足する恐れがあるといった意見が出されました。

その他、特別委員会を設置し、政策サイクル検討、定数等検討、広報・広聴検討を行う部会を設置し協議を行っていることなど、議会運営についても意見交換しました。

意見書を提出

◆OTC類似薬の保険適用除外を行わないことを求める意見書の提出について

政府は「経済運営と改革の基本方針」において、現役世代の保険料負担を軽減するためとしてOTC類似薬の保険給付の在り方の見直しを盛り込み、2026年度中に実施する方針を示しています。

OTC類似薬の保険適用除外が行われると医師の判断ではなく患者の自己判断で市販薬を使用することが増え、適切な治療が受けられず重篤化することが懸念されます。また、患者の自己負担が大幅増を招き、治療が継続できない事態が起きかねず、難病患者の家族や日本アトピー協会などから保険適用の継続が求められています。

この間当花巻市をはじめ多くの市町村が子ども医療費の助成制度の対象年齢を引き上げするなど、子どもたちの命と健康を守る施策を強めてまいりました。

これまで助成制度の対象となっていた処方薬がOTC類似薬の保険適用除外によって市販薬を購入せざるを得ないようになれば、子育て世帯にとっては大幅な負担増となる場合がでてくることを懸念します。

日本小児科医会からは「保険適用除外は保護者の経済的負担を増し『子育て支援』策として全国的に広がっている小児医療費の保護者負担軽減の方向に逆行し、『子育て妨害』です」との指摘がされております。

国民の2人に1人が罹患しているといわれる「花粉症」や、100万人を超えている「変形性膝関節症」などの広範な患者の負担増にもなりかねません。

よって花巻市議会は政府に対して、すべての国民が必要な医療を受けることができるように、OTC類似薬の保険適用除外を行わないことを求めます。

常任委員会等の活動報告

総務常任委員会

◆12月15日（月）

- * 正副委員長の互選
- * 委員席の指定
- * 行政視察の振り返りについて
- * 今後の活動方針について

産業建設常任委員会

◆11月21日（金）

- * 協議「政策提言について」

◆12月16日（火）

- * 所管事務調査
「空き家問題の課題とその解決策について」

◆1月7日（水）

- * 協議「政策提言について」

◆1月30日（金）

- * 所管事務調査「空き家等対策について」

総務常任委員会行政視察報告

11月5日から11月7日までの3日間、行政視察を実施しました。各市の取組内容は以下のとおりです。視察の内容を参考に今後の委員会活動を進めてまいります。

○群馬県渋川市議会

テーマ「自治会の負担軽減に向けた取組について」

渋川市では自治会活動の担い手不足や加入率低下の状況から、自治会活動の継続のため、地域からの要望等の専用窓口を設け効率的かつ迅速な対応に努めているほか、広報誌の発行回数や回覧物の配付を月2回から1回に見直しするなど自治会の負担の軽減に努めていました。

○岐阜県関市議会

テーマ「消防団活性化の取組について」

関市では各分団へのヒアリングの結果に基づき、操法大会を「安全競技大会」に改め、競技内容を選択できるようにしたほか、訓練回数を上限20回にするなど、団員の負担軽減を図っていました。また、消防団OBが災害時の活動のみ行う災害支援団員制度の導入をしていました。

文教福祉常任委員会

◆12月15日（月）

- * 審査
意見書案第3号
「OTC類似薬の保険適用除外を行わないことを求める意見書の提出について」
- ▷審査結果・・・可決
- * 行政視察の振り返りについて

議会改革推進会議

◆12月17日（水）

- * 正副委員長の互選
- * 委員席の指定
- * 一問一答について

◆1月29日（木）

- * 協議「一問一答について」

○岐阜県郡上市議会

テーマ「消防団活性化の取組について」

郡上市でもアンケートの実施結果を基に出初式や市操法大会を廃止、県操法大会は各分団の意思を尊重し立候補制としているとのことでした。また、年末特別警戒を短時間かつ短期間の実施とすることで団員の負担軽減を図っていました。



渋川市にて

※委員長・副委員長が代わりました

前委員長の高橋修氏が令和7年12月4日付で議員の辞職を許可されたことに伴い、正副委員長の互選を行いました。

○総務常任委員会 → 委員長 本館憲一（はなまき市民クラブ）、副委員長 及川恒雄（明和会）

○議会改革推進会議 → 委員長 伊藤盛幸（緑の風）、副委員長 藤根 清（明和会）

なかがわ あさひ
中川 朝陽 さん
(花北青雲高校2年)花巻市の未来へ
ちょっと一言やえがし たつみ
八重樫 龍海 さん
(南笹間)

魅力ある花巻市に

私は、バドミントンが強い花北青雲高校に魅力を感じ、市外から花巻市に通うようになりました。通っている中で私が感じたのは、高校が多いのにも関わらず、若者が少ないことです。花巻の高校は、それぞれ特色ある学科があります。市内で様々な分野について学べることは、花巻市の強みでもあると思います。

しかし、若者が少ないのは、高校で学んだことを活かす場面が少ないことが原因の一つだと思います。若者が「花巻市に住み続けたい」、「戻ってきたい」と思えるように、自分の技術を生かして働く場や挑戦する環境を整える、さらには、若者が発言する場を設けることが未来につながると思います。

高齢者に情報提供を

花巻で生まれ育つて62年。会社の勤務地は水沢、北上、盛岡となぜか花巻での勤務経験はありませんでした。会社員当時は、花巻市との仕事にかかわる事がありました。その時にはICTを活用した行政に取り組んでいる印象がありました。

花巻に生まれて、住んでよかったと思う地域であって欲しいです。花巻市のホームページには十数項目の案内がありましたが、対象となる方は当然ですが、80歳以上の方はいつ対象となるかもしれないので情報提供をお願いします。

議会の動き

11月～1月

- 11月21日 産業建設常任委員会
広聴特別委員会
12月2日 議会運営委員会
5日～19日 令和7年第4回定例会
5日 議会運営委員会
議員全員協議会
広報特別委員会
12日 議会運営委員会
15日 総務常任委員会
文教福祉常任委員会
16日 産業建設常任委員会
17日 広聴特別委員会
議会改革推進会議
19日 議会運営委員会
議員全員協議会

- 令和8年
1月7日 広報特別委員会
産業建設常任委員会
9日 議会運営委員会
14日 広報特別委員会
15日 令和8年第1回臨時会
29日 議会改革推進会議
30日 産業建設常任委員会

議会傍聴にぜひお越しを！！

【12月定例会】

本会議の傍聴に訪れた方の延べ人数 50人

【3月定例会】

2月25日（水）開会

詳しい日程は、議会事務局までお問い合わせいただくか議会のホームページをご覧ください。

議会事務局 0198-41-3598（直通）

議会中継をスマホ・

PCで視聴できます！

議会を傍聴に来られない方は、お持ちのスマートフォン・タブレットやパソコンからリアルタイム視聴ができるほか、録画配信もしています。

また、えふえむ花巻 FM One 78.7MHz では後日、録音した一般質問の音声を放送しています。

【広報特別委員会】

委員長

羽山るみ子

副委員長

小原 保信

委員

小森田 郁也

鹿討 康弘

及川 恒雄

伊藤 忠宏

佐々木 精市

櫻井 肇

阿部 一男